

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報セキュリティ基礎 Information Security Basics		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(「(国家資格) ITパスポート試験」の受験対策用科目である。)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
情報エキスパート				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
情報ネットワーク基礎				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟2階	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
ITパスポート試験の「情報セキュリティ」に関して、学習する。				
授業の目標				
カテゴリ「情報セキュリティ」の中で扱っている専門用語の意味を、他者に説明できるようにする。				
授業の方法				
①基本的にはプロジェクタを使用した講義で専門用語の意味を説明し、理解を深めるために演習も行う。 ②演習について理解度の確認を3回実施する。定期試験を実施する。 ③毎時間、「亀田授業シート」を提出する。 ④スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。				
学習の成果(学習成果)				
授業の目標を達成すると、「ITに携わる業務につく」「担当業務に対してITを活用していく」ための幅広い知識を習得し、その知識を他者のために活用できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(学習成果、成績評価) 映像で知る情報セキュリティー一般(1. その警告メッセージ信じて大丈夫) タイプ① 本日のまとめ			
第2回目	映像で知る情報セキュリティー一般(2. デモで知る!スマートフォン乗っ取りの脅威と対策 3. ワンクリック請求のワナを知ろう!) タイプ① 本日のまとめ			
第3回目	映像で知る情報セキュリティー企業(4. 組織の情報資産を守れ 5. 見えざるサイバー攻撃) タイプ① 本日のまとめ			
第4回目	【理解度の確認1と解説】			
第5回目	情報セキュリティー(ITパスポート試験対応)			
第6回目	先週に続き、情報セキュリティー(ITパスポート試験対応)			

第7回目	ユーザ認証とアクセス管理 (ITパスポート試験対応)	
第8回目	マルウェアとサイバー攻撃 (ITパスポート試験対応)	
第9回目	先週に続き、マルウェアとサイバー攻撃 (ITパスポート試験対応)	
第10回目	【理解度の確認 2 と解説】	
第11回目	暗号化技術 (ITパスポート試験対応)	
第12回目	ネットワークセキュリティ (ITパスポート試験対応)	
第13回目	先週に続き、暗号化技術、デジタル署名 (ITパスポート試験対応)	
第14回目	先週に続き、デジタル署名 (ITパスポート試験対応)	
第15回目	【理解度の確認 3 と解説】	
事前・事後学習	授業範囲の「書き込み式ドリルの重要ポイントまとめ」を記述しておく。 授業で不明だった点は必ず次回授業までに調べておく。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	20%	亀田授業シートが該当する。満点となる条件は「丁寧に書いてあり、一回読むと内容が理解できる」である。
調査報告書		
小テスト	30%	理解度の確認が該当する。試験 1 つあたりの配点は80点/3である。満点となる条件は「すべての答えが正解」である。
試験	50%	定期試験が該当する。満点となる条件は「すべての答えが正解」である。
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：イメージ&クレーバー方式でよくわかる栢木先生のITパスポート教室、栢木先生のITパスポート教室準拠書き込み式ドリル 2冊 (情報エキスパート (1年) ・情報ネットワーク基礎 (1年) ・情報セキュリティ基礎 (1年) ・情報基礎演習Ⅱ (2年) は同一教科書を使います)		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる。		